

# 山行報告書

報告書作成

2008年9月3日

山名 [山域]	法恩寺山～経ヶ岳(1625m)	目的と方法	新人研修
登山期間	2008年8月31日	山行形態	日帰りハイキング(避難小屋泊)
参加人数	7人		

## 行動記録

中の平避難小屋(530) =0:05= 登山者用P K G(535,545) -0:55- 法恩寺山(640,705) -0:25- 伏拝(730,740)-0:50- 北岳(930,1000) -0:40- 経ヶ岳(1040,1120) -0:40- 北岳(1200,1210) -1:30- 伏拝(1340,1355) -1:05- 登山者用P K G(1500,1520) =0:30= 勝山温泉「水芭蕉」(1550,1700) =0:05= 蕎麦「八助」(1705,1730) =1:40= 白鳥IC(1910) =0:40= 富加関IC(1950) =0:15= 美濃加茂SA(2005,2020) =0:45= 豊田東IC(2105) =0:05= 河合池運動公園(2110)

## 概念図



## 日誌

前日は中の平小屋で、テント泊山行の講習をしていただきました。装備・パッキング、テント設営・撤収、読図、安全登山の基礎、気象、避難小屋でのマナーなど。鮮やかな夕日が見えました。  
4:00起床、5:30登山口に到着。法恩寺山まで階段の急な登りが続く。山頂は展望に優れ、地図・コンパスを使って山を特定する訓練を行う。  
伏拝から先は登山道脇の笹が生い茂り、時折倒木にさえぎられる自然の道だ。稜線の登山道は樹木に覆われ展望なし。痩せた尾根道でも、笹で覆われて切り立った斜面が見えない。土砂が崩れたところでは緊張する。  
北岳山頂で再び山と地図を照らす訓練。あいにく白山山頂は雲がかかる。北岳から経ヶ岳へは笹が登山道を覆いつくし藪こぎで進むことになる。計画では20分ほどの平坦な道を40分かかる。  
頂上では2組と出会う。展望が見事だ。到着後すぐに雲がかかり、以後展望は回復しなかった。  
下山後、中の平避難小屋前で記念撮影し、勝山温泉「水芭蕉」へ。帰路、登山道で拾った携帯電話を勝山の派出所に届ける。

## 感想

無人の避難小屋を教室にして、パッキングのノウハウも先輩方にみせていただいたり、たっぷりテント山行の基礎学習ができました。日帰りハイキングでは、コンパスだけでなく、特定した山との相対的な位置関係から他の山を特定していく過程をていねいに解説いただくなど、たいへん参考になりました。経ヶ岳は下草が刈り込まれていない道で驚き、そして疲れました。